



GSIS

Tohoku University
Graduate School of Information Sciences

情報科学研究科 新入生オリエンテーション (安全衛生・施設経理等)

2024年4月

施設：建物と環境

■ 情報科学研究科研究実験棟

- 2001年3月19日竣工
- 8階建
- 4専攻の21分野が入居

* 第2棟を計画中



施設：建物と環境

■ 研究科棟以外の場所へ入居している分野

- 機械・知能系：5分野
- 電気・情報系：10分野
- 人間・環境系：3分野



施設：バリアフリー

■ 青葉山キャンパスのバリアフリーマップ

<https://www.ccds.ihe.tohoku.ac.jp/wp-content/uploads/2022/05/8cfd508369e9db4a6ef5d66754eecb4.pdf>



*注意すべきポイントも記載されています。

施設：アクセス

■ 地下鉄「青葉山駅」

- 情報科学研究科棟に隣接。
- 通学には地下鉄を推奨します。



■ 自家用車での通学

- 原則として、通学距離が2km以上の博士課程後期3年の課程のみ。
- 申請と許可が必要です。
- 有料となります。

安全衛生：巡視と安全会議

■ 事業場内巡視

- 産業医、安全衛生管理者が、毎月巡回し、安全・衛生上の問題があれば指摘します。
- 各研究室で問題点を改善します。

■ 研究室等安全会議

- 毎月、実施します。
 - 1) 各月の共通テーマ
 - 2) 各フロア・分野での課題

安全衛生：学生相談室

■ 東北大学 学生相談・特別支援センター

<https://www.ccds.ihe.tohoku.ac.jp/>



- 学生相談室
学業、進路、人間関係、悩み、心の健康
- 特別支援センター
何らかの障害によるつまづき

安全衛生：防災訓練

■ 避難訓練

- 毎年、秋に実施
- 避難経路の確認
- 避難所に集合・安否確認
- なんらかの講習・実習
(AEDによる救命など)

*構成員には日ごろからヘルメット配布

安全衛生：安否確認

■ 東北大学安否確認システム

- 災害時等に構成員全員の安否を確認
 1. 大学から安否確認や緊急連絡を送信
 2. Digital Campus Mail(DCメール) に着信
 3. メールの指示に従って大学へ連絡
- 訓練が、年に二回（春／秋）
- 登録はこちらから

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/saigaitaisaku/index3.html>



安全衛生：非常時対策

■ 備蓄

- 1日分（3食）の食料品・水等を備蓄
→ 災害時に慌てて帰宅しない。

■ 災害対策本部

- 震度6弱以上の地震、あるいは研究科長が必要と判断した場合に設置
- 安否・救護班が3日以内に構成員の安否確認。

安全衛生：非常時対策

■ 安否確認責任者

- 研究室ごとに決定。
- 安否・救護班と連携。
- 安否確認システムで無事が確認できない者の安否を確認し、安否・救護班に報告。
- これを可能にする連絡網を平時から構築。

安全衛生：対応ガイド

■ 安全ハンドブック

- 地震発生時の初動
- 火災時の対応
- 事故時の対応
- 学生教育研究災害傷害保険
- 防災設備・機器の確認
- 怪我への緊急対応法



安全衛生：禁煙

■ キャンパス内は全面禁煙

- 健康被害の予防
 - 受動喫煙防止
 - 火災の防止
-
- 「キャンパス内」とは、建物外の緑地、駐車場、共用の通路、敷地に面する公道の歩道部分等を含みます。

研究倫理：審査・慎重な対応

■ 倫理審査申請

- 医学・心理学・生理学・ゲノムに関する人間対象研究は、事前に申請と審査が必要です。
- 手順・資料などはこちら

<https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/activity/ethics/>



■ 個人情報への留意

- 個人情報がかかわる研究にも慎重な対応が必要です。各分野における指導に従ってください。